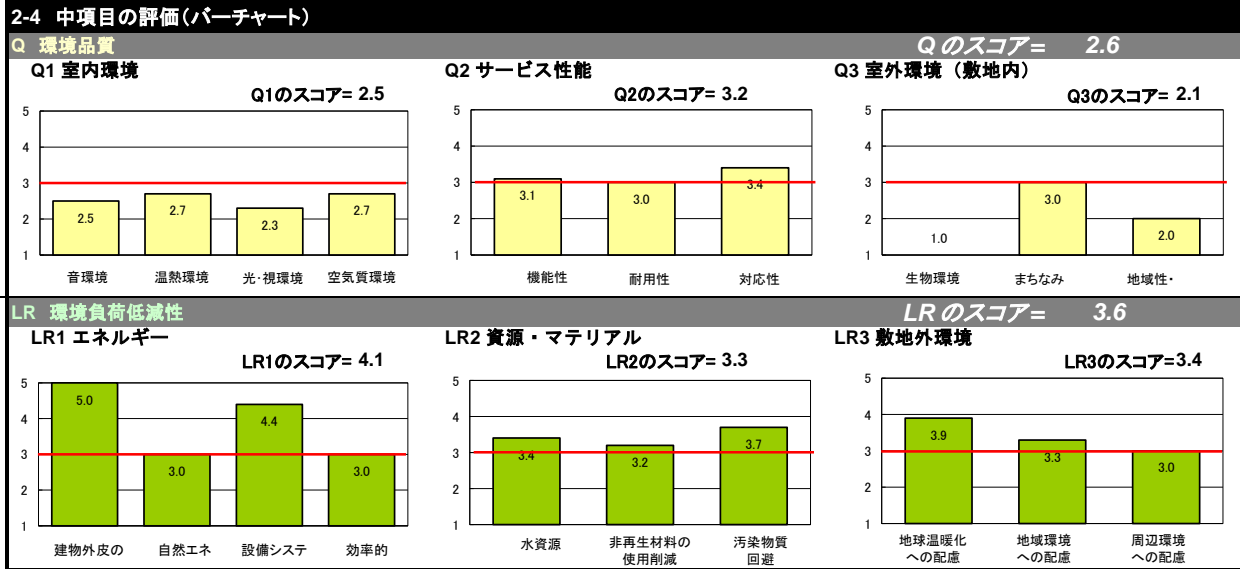
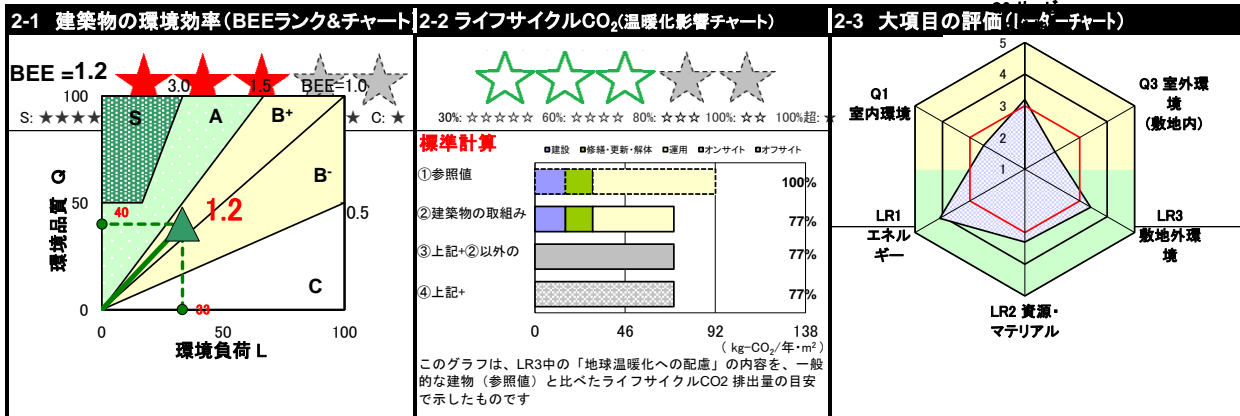
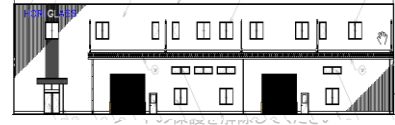


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堀硝子株式会社 本社・技術センター	階数	2
建設地	厚木市上古沢字細田270-1(仮換地:厚木市森の里東土地区画整理事業4街区8画地)	構造	S造
用途地域	準工業地域・防火指定なし	平均居住人員	65人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	6,861 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	1,719 m ²	確認日	2020年7月1日
延床面積	3,063 m ²	確認者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合	厚木市森の里東土地区画整理事業地内に、事務所及び工場の複合用途の本社・技術センターを計画した。	
Q1 室内環境	居室に、開閉可能な窓を設け、有効な自然換気性能。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	将来の用途変更可能性などを考慮し、ゆとりある建物の階高を設定した。 快適なライフ生活を行えるようリフレクティブ・ガラスを執務スペースの1%以上設置した。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	-	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	自動水栓等に加えて節水型便器を採用した。 躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、OA707も採用した。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	-	大気汚染防止として燃焼設備を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される